

# これで本当に安全なの？

# 私たちは不安で一杯です。

12月15日、道などが設置した有識者検討会議は、「安全性が確保できる」として泊原発3号機でのプルサーマル計画を容認する「最終報告」をまとめました。でも、「最終報告」は、問題だらけです。これでは私たちは安心できません。

有識者検討会議の「最終報告」の4つの大問題

## 1 推進派ばかりの委員会は、北電の言いなり

有識者検討会議は、原子力関係を研究している原発推進の学者や専門家が中心となっています。プルサーマル計画は安全で実現可能と信じて疑ってません。そのため、北電の安全対策について批判的な検討を行いませんでした。

## 2 具体的な検討は、一切なし

検討会議は、事務局（道）の作成した資料や北電の説明を聞くことに大半の時間を費やしました。検討会議が自ら疑問を持って、詳細な調査や検討などは行いませんでした。

## 3 困った時には、国に押しつけ

プルサーマルの問題点の一つに、使用済燃料の処分方法の目処が

たっていないことがあります。今のままでは、数百年後まで核のゴミが放置されて地元は危険になります。いつ、事故が起こって放射能が漏れ出すかわかりません。しかし、検討会議は、使用済核燃料の処分は国の政策なので国に責任を持ってもらうとしてそれ以上の検討はしませんでした。

## 4 都合の悪いことは、数字でごまかし

私たちは、万が一にも事故が起こった時、どのようなのか、どうすれば良いのかを知った上で、プルサーマルの是非を検討して欲しいと訴えました。地震や想定外の事態など原発事故は、いつ発生するかわかりません。しかし、検討会議は、数千万年に一回あるかどうかの事故については、検討する必要があるとしてごまかしました。また、数千万年に一度という根拠は示されていません。

北海道の自然と  
私たちと子孫の生命を  
守るため、  
北海道知事に  
次のことを求めます。

- 1、北電が進めるプルサーマル計画の実態について、全ての道民に知らせてください。
- 2、北海道にプルサーマルが、本当に必要なのか、経済性はあるのか、私たち道民は将来の世代まで安心して暮らすことができるのかを道民にわかるように検討してください。
- 3、プルサーマル計画の是非について、道民の意見を聴いてください。

高橋はるみ北海道知事に  
プルサーマル計画に反対・疑問の  
道民の声を届けましょう!!

郵便の場合

〒060-8588 北海道知事宛

FAXの場合

FAX 011-241-8181

「脱原発・クリーンエネルギー」市民の会

「事務局」北海道平和運動フォーラム 〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル2F

TEL 011-231-4157 FAX 011-261-2759 <http://www.peace-forum.net/blogeuc>